

米子市立山陰歴史館

歴史館だより

2025. 7. 2 第 14 号



歴史館のマスコットキャラクター
れきくん しーちゃん かんくん

米子市美術館・米子市立山陰歴史館・米子市埋蔵文化財センター連携事業

企画展「戦後 80 年 未来へ伝える昭和の戦争」

アジア・太平洋戦争が終結して 80 年を迎える 2025 年、米子市文化財団が管理・運営している米子市美術館・米子市立山陰歴史館・米子市埋蔵文化財センターが連携し、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らし出す展覧会を開催します。3 館が収蔵する、戦争を経験した芸術家の作品、戦中・戦後の資料、発掘された戦争資料などを展観、また、この度米子市立山陰歴史館と鳥取市あおや郷土館 2 館共同で実施した、「戦後 80 年 鳥取県内の忠魂碑等状況調査」の成果を展示し、戦争の記憶を後世にどう引き継いでいくかについて、改めて考える機会を提供します。



寄せ書き日章旗



日米英宣戦布告記念品



防空頭巾



忠魂碑(栗嶋神社境内)

会期 令和 7 年 7 月 20 日(日)から 8 月 24 日(日)まで

開館時間 午前 10 時から午後 6 時まで

休館日 毎週水曜日

会場 米子市美術館 第 1・2 展示室

観覧料 一般・500 円 (15 名以上の団体 1 名 400 円)

70 歳以上、大学生以下、障がいのある方(介護者 1 名含)は無料

主催 米子市・米子市教育委員会・

(一財)米子市文化財団 米子市美術館・米子市立山陰歴史館・米子市埋蔵文化財センター

新寄贈品紹介 「荒尾成裕掛け軸」

令和6年10月に、鳥取藩主席家老であった米子荒尾氏の第10代荒尾成裕自筆の掛け軸を寄贈いただきました。

江戸時代末期、アメリカのペリー率いる黒船(軍艦)が、浦賀沖(現神奈川県横須賀市)に来航した嘉永6年(1853)以降、日本国内は外国からの襲来に備えて、台場などを整備し海岸警護を固めました。

本資料の本文には、荒尾成裕の自書で「文久3年(1863)の春に世が騒がしく、外国が攻めてくる恐れがあるから出雲の港湾に軍備した」という噂を聞いた。我らの米子城も気がかりで、3月29日に成裕と成富父子がともに鞭をあげて急いで馬を走らせると、遂に16時過ぎに自分たちも馬も無事に米子城に到着できた。この嬉しさを口ずさんで以下の句を詠んだ。(意訳)

長き日の わけてうれしき 夕日かな 光風館梅基 在原(荒尾)成裕」と記されています。幕末の緊迫した状況が読み取れる、米子ゆかりの貴重な資料です。常設展示「米子城の歴史」で特別公開中です。



連携展「鳥取藩主池田家墓所写真コンクール」&荒尾家墓所紹介

江戸時代、現在の鳥取県に相当する因幡・伯耆国32万石を領地とした大名鳥取池田家の墓地は、鳥取市国府町奥谷にあり、鳥取藩主池田家墓所として国史跡に指定されています。史跡を所有する公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会では、壮大な池田家墓所の魅力を周知するため、平成18年度から池田家墓所写真コンクール(写真部門・フォト575部門)を開催しております。第18回となる今回は、二部門で152点の応募作品の中から、四季折々の美しさや感性の豊かさに溢れる入選作品46点が当歴史館で巡回展示されています。ここでは写真部門及びフォト575部門での最優秀賞作品をご紹介します。これらの作品の鑑賞を通して、米子市民のみなさんが普段なじみの少ない池田家墓所に足を運ぶきっかけになればと願っております。

また、藩主家の親戚でもある筆頭家老荒尾家(1万5千石)は、米子城を預かるとともに城下町米子に自分手政治を敷いて「荒尾の殿様」と呼ばれていました。菩提寺である博労町の了春寺には荒尾家墓所(米子市史跡)があり、歴代当主の墓石が並んでいます。



【写真部門・最優秀賞】

「化粧」

村川 節秀(米子市)



【フォト575部門・最優秀賞】

田中 正義(米子市)



米子市指定史跡・荒尾家墓所

(米子市・了春寺)

新指定文化財紹介「尚徳地区のセントロ・マントロ」

2階 2－3展示室（民俗）

米子市南部の法勝寺川流域の尚徳地区では、毎年7月にセントロ・マントロと呼ばれる火祭りが行われます。セントロ・マントロとは、「千灯籠・万灯籠」の訛った呼称で、僧侶あるいは神職、集落の代表が祈祷した後に神前の火をもらい受けて、水田の周りや道路・川堤に立てられた数多くの竹灯籠に点火します。祭りは集落全体で行われますが、かつては子どもが祭りの主体であったことが共通します。

秋葉社、愛宕社、船上社それぞれの火伏、疫病封じ等の信仰に基づく火祭りが、互いに影響しあって伝承されてきたもので、石燈籠や御札の年代などから、江戸時代末期から明治時代には行われていた貴重な歴史文化遺産として、令和6年8月に米子市無形民俗文化財に指定されました。夕闇の中に虫送りの行列を彷彿とさせる火の帯が浮かび上がって、夏の夜の幻想的な風物詩となっています。

写真等パネルで紹介します。



法勝寺川に映るセントロ・マントロ（兼久）



秋葉社への願掛け（上安臺）

調査報告「鳥取県の忠魂碑・慰霊碑」

山陰歴史館では、冒頭で紹介した企画展「戦後80年 未来に伝える昭和の戦争」を開催するにあたって、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らし出すという目的にそって、鳥取市あおや郷土館と連携して鳥取県内に所在する戦没者を慰霊するために建立された「忠魂碑・慰霊碑」200基以上の現況調査を実施しています。調査項目は、碑銘・所在地・規模・設置者・年代・揮毫者・材質などに及び、戊辰戦争、西南戦争、日清戦争、日露戦争、第1次世界大戦、満州事変、日中戦争、アジア・太平洋戦争に関連する慰霊碑等を対象としました。このうち米子市内で



米子市内の忠魂碑・慰霊碑

は、昭和20年の終戦以前の忠魂碑から、戦後の昭和60年代に建設された慰霊碑まで、現存する32基の調査を行うことができました。こうした調査成果の一部は企画展で紹介するとともに、さらに研究を深めて近代の戦争における忠魂碑・慰霊碑が果たした意味や役割などを明らかにしていきたいと思っています。

令和7年度の今後の主な展示予定（7月以降）

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
常設展 米子城の歴史展、昔の暮らし展、鉄道のまち 米子の歴史展、昭和の学校、弓浜絆展	国史跡米子城跡、尾高城跡、鉄道資料、民俗資料、昭和の学校、米子の遺跡など郷土の歴史を通して、人々の暮らしの様子を紹介しています。 【観覧無料】	通年・随時展示替
共催展 「第18回鳥取藩主池田家墓所写真コンクール作品展」 共催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会	鳥取市国府町に所在する池田墓所を題材とした写真コンクールの「写真部門」「フォト575部門」入賞作品を展示する。 【観覧無料】	6月21日(土)～7月21日(月・祝)
企画展 「戦後80年未来へ伝える 昭和の戦争」 共催：米子市美術館・米子市埋蔵文化財センター	歴史館所蔵の戦中・戦後の資料や近隣美術館の戦争を体験した芸術家の作品や写真を展示し、戦争の惨禍の記憶を後世へ引継ぐ機会とする。 観覧料：500円	7月20日(日)～8月24日(日) 会場：米子市美術館 第1・2展示室
昭和百年記念企画展 「米子の100年回顧展」	昭和元年から数えて100年を記念して、米子の100年の歴史を振り返る。 観覧料：300円	9月28日(日)～12月28日(日)
企画展 「山陰歴史館から出発進行～鉄道資料で仮想旅行～」	切符や時刻表、ヘッドマーク等の館蔵鉄道資料や写真を展示し、鉄道の旅の歴史を展示 観覧料：300円	令和8年 1月18日(日)～3月29日(日)

米子市立山陰歴史館

開館時間 9:30～18:00 (17:30までに入館)

休館日：毎週火曜日 祝日の翌日 12月29日～1月3日



〒683-0822 鳥取県米子市中町20番地

電話/0859-22-7161 fax/0859-22-7160

<https://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail: saninrekishikan@dear.net.jp [編集：中原]